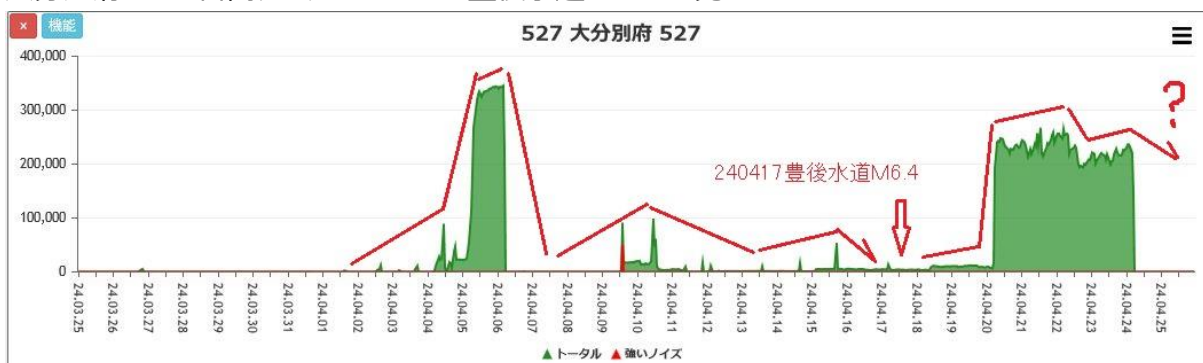


241101 大分県府の急な減衰、収束について

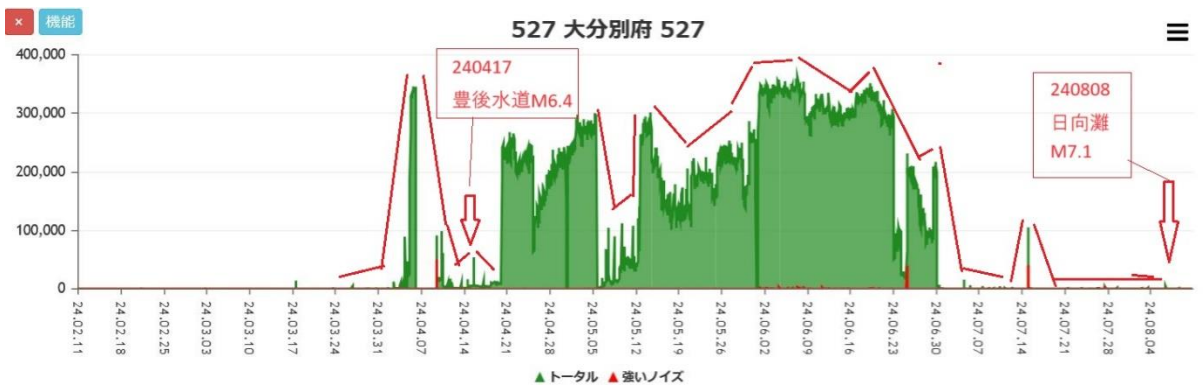


大分県府に4月初め頃から緑の幅のある、Max 約 30 万超の大きなデータが出て、最初の減衰、収束を迎えて 4/17 に豊後水道 M6.4 が発生しました。その後再度データが増加し、Max 約 30 万超の大きなデータが 4 月下旬から 6 月末頃まで続いて減衰した後、8/8 に日向灘 M7.1 が発生しました。そして 8 月末頃から同じく緑の塊状（山）のデータが出て、この山は Max40 万を超えてきており、10/末になって急に減衰しており、収束も間近と思われます。データの総量としては 今回が一番大きいことから 8/8 の日向灘 M7.1 を超える規模の大地震の可能性があり、十分な注意が必要です。以下参考までに関連のデータを載せます。

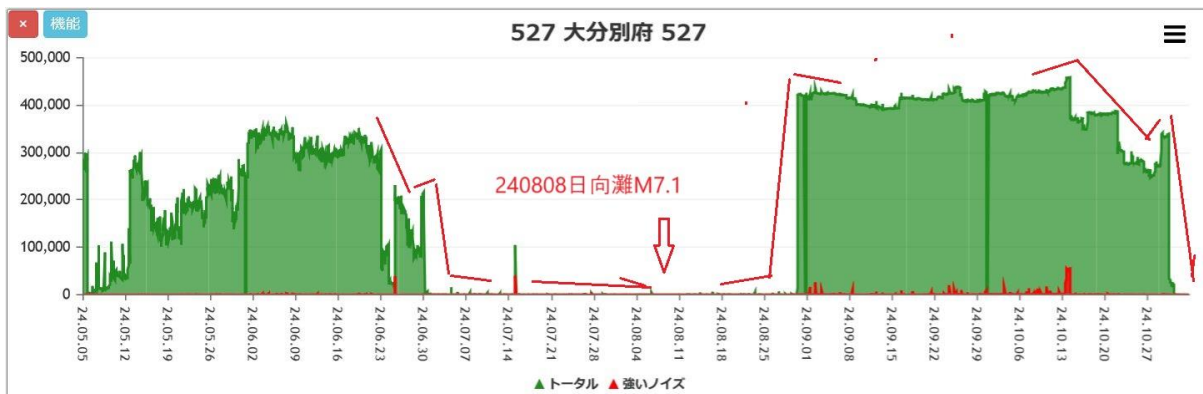
大分県府の 30 日間データと 240417 豊後水道 M6.4 の発生



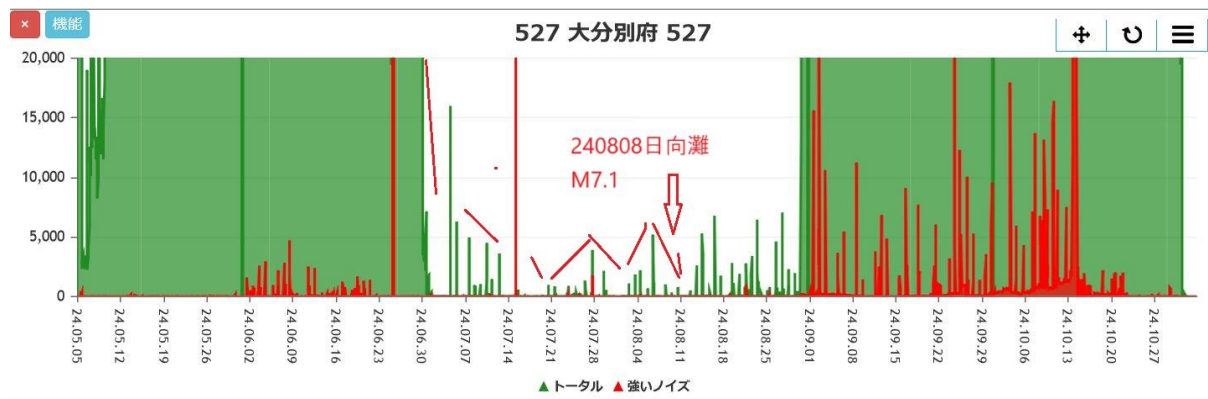
大分県府の 180 日間データと発生地震



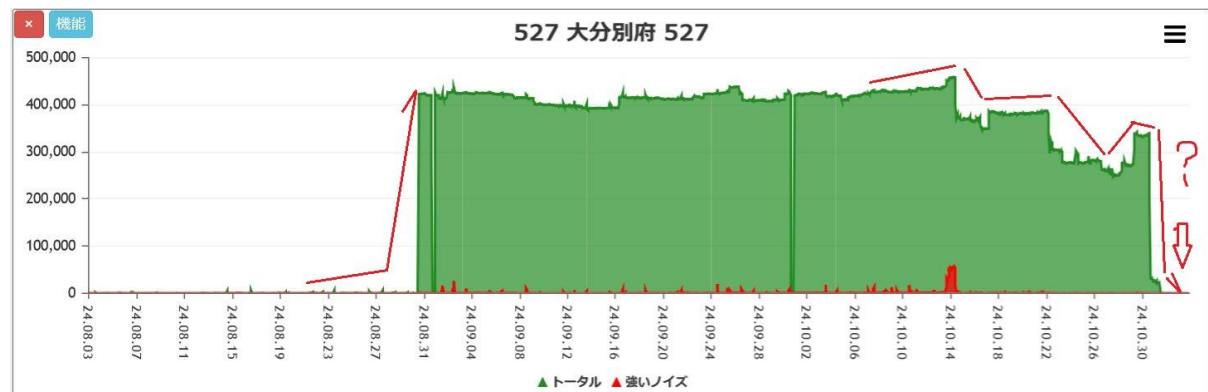
大分県府の 360 日間データと 240808 日向灘 M7.1 の発生



大分県府の 360 日間データと 240808 日向灘 M7.1 の発生（データ拡大）



大分県府の 90 日間データと減衰状況



大分県府の 30 日間データと減衰状況



大分県府の 15 日間データと減衰状況

